

# 創立40周年記念式典

弊社は今期で創立40周年を迎え、去る2023年12月1日(金)にウェスティン仙台にて『創立40周年記念式典』を開催いたしました。従業員一同、会場の雰囲気にも少なからず、代表取締役の挨拶を皮切りに式典が始まりました。初めは映像と共にこれまで40年間の歩みを振り返りました。創立者や企業の成り立ちを知らない従業員も増えてきた中で、改めて振り返る時間を作ることができ、良い機会であったと感じています。動画を見終えた後は、表彰を行いました。表彰内容は、永年勤続表彰(30年・10年)・功労賞・この度40周年記念としてオリジナル日本手ぬぐいを作製するにあたり、従業員にデザインを集い選考された作品にデザイン賞を受賞いたしました。永年勤続30年は8名、10年は4名、功労賞は3名おり、記念品を贈呈しました。式典後は懇親会兼忘年会を行いました。全体としての忘年会は実に4年ぶりとなりました。コロナの流行により自粛していたこともあり、入社してから初参加だと言う従業員も数名。親睦会の余興として、全員参加のトーナメント形式でじゃんけん大会も行いました。参加者46名中、上位4名が景品、14名が商品券をゲットしております。普段なかなか話す機会がない従業員同士でも親睦を深め、大変盛り上がりを見せた忘年会となりました。40周年を迎えた弊社ですが、今までお客様と共に地道に歩んできた結果であると思えます。これからもお客様に愛される企業であるべく精進して参ります。また、この度記念品をお願いした今治タオルの作製をお願いしました「伊織」様、日本手ぬぐいを作製してくださいました「ほまれや」様、従業員やお客様より大変評判が良く、企画した側も満足のいく出来上がりとなり、嬉しく思っております。40周年記念式典の晴れ舞台に輝かしい彩を添えていただき、運営人一同感謝申し上げます。ありがとうございました。



建設技術センター社報  
調査・試験を通して人々の暮らしを守る

# 建技季報

2024年  
新年号  
(第八版)

発行：建設技術センター



## 受賞者インタビュー

40周年記念として、永年勤続30年・10年・デザイン賞を受賞した方(代表者)へインタビューさせていただきました。



### 永年勤続30年代表

Q1. 30年の思い出をお聞かせください。

(一番記憶に残っている業務や辛かったこと、楽しかったことなど何でも良いです。)

A1. 一番記憶に残っている業務は、某ゼネコン業務です。締固め試験は、手書きスタートでした。Excel・Wordが発売された頃だったので、ソフトの使い方を覚えるのに必死だったことを思い出します。また、報告書として提出するのですが、当社担当者から納品前日に「図面の色塗りしていない…」と告げられ、生まれて初めて徹夜をしました(笑) 楽しかったことは、社員旅行でした初の海外旅行を経験させていただき最高の思い出です。

Q2. 現在働いている従業員へメッセージをお願いします。

A2. 大人になればなるほど時間が過ぎるのが早く感じます。あっという間に30年経っていた…と言うのが正直なところで。皆さんにお伝えする事があるとすれば、目標を設定して未来の自分のために自己投資して欲しいと思います。資格取得や勉強して身につけた知識は自分だけのものです。これからの建設技術センターを支えていくのはあなた達一人一人の力です! 期待しています。

### 永年勤続10年代表

Q1. 10年の思い出をお聞かせください。

(一番記憶に残っている業務や辛かったこと、楽しかったことなど何でも良いです。)

A1. 最初頃は現場等でよく怒られていました。静岡県に一月近く出張できたのが楽しかったです。

Q2. 今後の抱負をお聞かせください。

A2. 資格取得です。

### デザイン賞受賞者

Q1. デザインはどう思いつきましたか?

A1. 昔、柱状図を手書きをしていた頃に、砂のドットやシルト・粘土などを点線や横線で描いて切って貼り付けたりと、手作り感のある報告書を作成していました。当時その模様が、織や染めなどの伝統工芸に似ているなあと感じていたので、今回のデザインとして思いつきました。今回の柱状図はネットで公開されている会社付近の柱状図を基にデザインしました。

Q2. 受賞しての感想をお聞かせください。

A2. 他に良いものがあると思ったので、正直選ばれるとは思っていませんでした。



年表	1980年代										1990年代										2000年代									
	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
建設技術センターの歩み	1980年代前半										1980年代後半										1990年代後半									
システム開発	1980年代前半										1980年代後半										1990年代後半									
大企業案件	1980年代前半										1980年代後半										1990年代後半									
社会貢献	1980年代前半										1980年代後半										1990年代後半									



### QC 活動意見交換会 with JR 東日本テクノサービス様

去る2024年1月16日、JR東日本テクノサービス様とQC活動意見交換会を実施いたしました。これまで社内のみで実施しており、社外ではどのように活動をしているのか知る機会がありませんでした。しかしJR東日本テクノサービス様からお声を掛けていただき、このような機会をいただけたこと心より感謝申し上げます。数名の参加ではありましたが、大変勉強になり、参考にさせていただきたいことが沢山ございましたので、各サークルに持ち帰り、これまで以上に士気を上げたいと存じます。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。ありがとうございました!!!



### 『地盤工学の実務におけるコーン貫入試験』の編集 委員会の構成にて弊社の名前が掲載されました。

CPT技術協会様で、世界の多くの技術者に親しまれ「実務技術者の座右の書」となっている「Lunne,Robertson,Powell」の著書、Cone Penetration Testing in Geotechnical Practice」を翻訳し、出版いたしました。翻訳原稿の作成に当たり、数社で分担しながら弊社でも翻訳の作業に携わり、編集委員会の構成として名前が刻まれております。既に発売されており、ご購入可能です。想いがこもった本書の一部になれたことに従業員一同誇りに感じ、私どもも多くの実務技術者に読んでいただけることを祈念しております。

編集委員会の構成

所属会社	氏名	役職	所属会社	氏名	役職
地盤試験所	高橋千代丸	会長	徳島建設	藤 久生	幹事
	志留 繁正	幹事	ダイエーコンサルtant	野村 隆	幹事
	山本 紗季	幹事	地盤総合コンサルtant	大野 健樹	幹事
ソイルアンドロック エンジニアリング	立橋 一典	幹事	愛媛総合コンサルtant	佐野 洋明	幹事
	後藤 政時	副会長	2愛エンジニアリング	吉野 洋明	幹事
エシエンジニアリング	若木 新紀	幹事	中央建設	西原 彰	幹事
	大塚 潤	監事	豊栄 隆之	幹事	
タカランジニアリング	福田 雄也	幹事	日さく	石川 恵司	幹事
	徳山 泰治	幹事	北の海工建設共同組合	阿部 剛志	幹事
川村地盤	藤本 洋司	幹事	アストロテラス	堀野 啓太	幹事
	宮 輝志	幹事	建設業上野協会	堀野 啓太	幹事
建設技術センター	松本 洋司	幹事	中央太平洋建設	野藤 剛史	アドバイザー
	石川 啓	幹事	三英海宇海上防務	深沢 肇	アドバイザー



**趣味の達人コーナー寄稿大募集!**  
趣味の達人コーナーでは皆様からの寄稿を募集中です!  
「我こそは!」と思う方はぜひご応募ください!  
応募先 株式会社建設技術センター CSR企画室 高橋宛  
hoharu.takahashi@ctc-kengi.co.jp



### 趣味の達人 第八回 趣味を楽しんでいる方にインタビューするコーナー

本コーナーは趣味を楽しんでいる方をご紹介しますコーナーです。  
第八回目はコンクリート地盤環境課の保原様大人にインタビューさせていただきました。

**Q1. 野球歴はどのくらいですか? 現在も野球はやられていますか?**  
A1. 15年くらいです。小・中学と野球部でした。大学生の頃から草野球チームに入っていますが、今は見るほうが好きなので最近はありません。

**Q2. いつ頃から野球をされていますか?**  
A2. チームに所属しプレーし始めたのは小学4年の頃です。

**Q3. ポジションはどちらですか?**  
A3. 小学生からずっと外野です。難しい打球を取れたいと嬉しく思います。



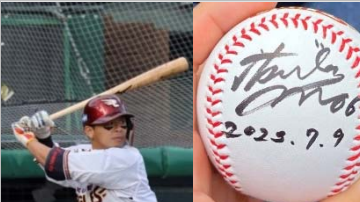
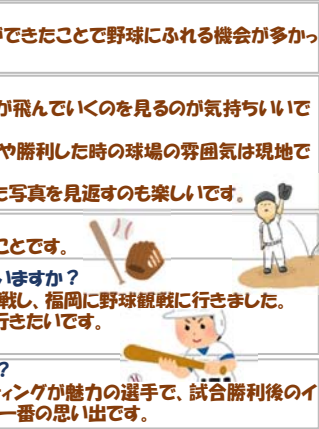
**Q4. きっかけは何だったのでしょうか?**  
A4. 父親がやってたことや、楽天イーグルスができたことで野球にふれる機会が多かったことがきっかけです。

**Q5. 魅力はなんですか?**  
A5. プレーの魅力はうまく打てた時にボールが飛んでいくのを見るのが気持ちいいですね。観戦の方では、応援するチームが得点した時や勝利した時の球場の雰囲気は現地では味わえない醍醐味です。また、野球観戦用に購入したカメラで撮影した写真を見返すのも楽しいです。

**Q6. プレー中の失敗談はございますか?**  
A6. サインを見ておらず、バントをしなかったことです。

**Q7. 野球観戦はどのくらいの頻度で行かれていますか?**  
A7. 2023シーズンは仙台で約30試合を観戦し、福岡に野球観戦に行きました。ピジャター観戦も楽しかったので、来年はもっと行きたいです。また、3月にはWBCを見に行きました。

**Q8. 国内外関係なく、現在一番好きな選手は?**  
A8. 楽天の浅村栄斗選手です。力強いバッティングが魅力の選手で、試合勝利後のイベントで浅村選手とハイタッチしたことは今年一番の思い出です。



**Q9. 現在一番、どちらの球場でどの球団を実際に観戦していますか?**  
A9. 北海道のエスコンフィールドに楽天の試合を見に行ってみたいです。いざれば12球団の本拠地を制覇したいです。

**Q10. 最後に皆さんに野球観戦する際のポイントを教えてください。**  
A9. 同じ野球観戦でも、外野席で応援したり、グラウンドに近い席でじっくりプレーを見たいと、席によって楽しみ方が違います。試合のみならず、球場グルメやイベントなど野球に詳しくなくても楽しめることが多いので、自分なりの楽しみ方を見つけることがポイントだと思います。

